

’89  
西南シャントゥール定期演奏会  
SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT

1989 12/2 土  
福岡銀行大ホール

主催／西南シャントゥール

〔賛助出演〕女声合唱団「けやき」

## メッセージ

### 多田武彦

'89年定期演奏会おめでとうございます。

昭和25年から3年間京大在学中、京大男声合唱団の指揮をしていた折、西南グリークラブの秀でたアンサンブルの男声合唱を聴き、何度か感動した思い出があります。その西南グリーのOBたちによる西南シャントゥールの音楽は、さらにその上に年輪が加わって、奥行の深い音楽性を湛えていることでしょう。

今回は私の作品を探り上げていただき、厚く御礼申し上げます。

伊藤整先生の詩といえば、すぐ雪の小樽を思い出しますが、先生の描く北海道の春から夏への瑞々しい緑の季節もまた冬とは対照的な美しさを持っています。西南シャントゥールの卓越した演奏で、今宵伊藤整の世界が繰り広げられることでしょう。

演奏会のご成功を心からお祈りいたします。

「藤沢市」より

### 女声合唱団「けやき」 代表／仲嶋和枝

赤坂けやき通りに練習場を持つ「女声合唱団けやき」は結成して4年目を迎えました。

思い返せば、8名で始めた小さな合唱団が10ヶ月目には28名で「全日本おかあさんコーラス全国大会」に九州代表出場という幸運に恵まれ、その後「全日本合唱コンクール県大会」で金賞をいただき、団員一同大きな励みとなりました。

指揮者の宮崎哲先生、また西日本オペラの主要メンバーとして活躍中の宮崎憲子、また林美恵子両先生からは、コーラスの基本である発声を教えていただいております。この様な恵まれた環境の中で好きな歌を心ゆくまで歌えることは、何物にもかえがたい喜びと言えましょう。

来年は5年目のくぎりとして、「第1回定期演奏会」を開きたいと大きな希望に胸を膨らませています。

この度は、結成30数年の伝統ある「西南シャントゥール定期演奏会」にわずか4年目を迎えた「けやき」を賛助出演に選んでいただき団員一同感謝の気持ちで一杯です。数少ない男声合唱団とご一緒できることは「けやき」にとって良き思い出となり励みになると思います。

「西南シャントゥール」の皆様に恥ずかしくない演奏ができますことを願っています。有難うございました。

### ■西南シャントゥール

西南シャントゥールは昭和29年、西南学院の卒業生を中心として内海敬三氏により結成された西南学院グリークラブOBの男声合唱団である。シャントゥール(Chanteurs)という名称は発足当時米国海軍にThe Sea Chantersと男声合唱団があり、又、フランスのCompanion de la Chansonという、ユニークな男声合唱団があったのでフランス風の洒落れた合唱団をつくろうと名称をSeinan Chanteursと名付けた。

結成されたその秋には例年合唱コンクールで1位だった「福岡合唱団」を破って全国大会に出場し3位という好成績をおさめた。

西日本でも数少ない一般の男声合唱団であり、毎年の単独演奏会の開催をつづけています。

昭和59年には「創立30周年記念音楽会」を福岡銀行大ホールにて開催。平成元年7月ガスホールにて混声合唱団トニカ、西南ブリエールとサマー・ジョイント・コンサートを開催。同年9月にはRKB「楽しいコーラス仲間」テレビ出演などをした。

# PROGRAM

## 1 「クリスマスキャロル」

- \* O Come Emmanuel
- \* Silent Night
- \* Oh, Holy Night
- \* O Come, All YE Faithful
- \* Silver Bells
- \* White Christmas

指揮／内海敬三  
ピアノ伴奏／三成寛子

## 2 「きまぐれエッセイ」

〔贊助出演〕女声合唱団「けやき」

作詞／海野洋司 編曲／南 安雄  
指揮／宮崎 哲 ピアノ伴奏／山田光子

- \* 冬の花びら ヴィヴァルディ作曲「合奏協奏曲 四季 冬 第2楽章」
- \* 海の夕日 モーツアルト作曲「交響曲 第40番 K550 第1楽章」
- \* 終りは知らないけれど ベートーヴェン作曲「ピアノソナタ op.13(悲愴) 第2楽章」
- \* 時雨 フラームス作曲「交響曲 第3番 第3楽章」
- \* 春に グリーグ作曲「春に寄す」
- \* 花火 ドビッシー作曲「ベルガマスク組曲(月の光)」

休憩

## 3 「デュオバの荘厳ミサ曲」より

- \* KYRIE
- \* GLORIA
- \* SANCTUS
- \* O SALUTARIS
- \* AGNUS DEI

指揮／内海敬三

## 4 男声合唱組曲「縁深い故郷の村で」

作詞／伊藤 整 作曲／多田武彦

指揮／内海敬三

- \* 春日
- \* 風
- \* 雨
- \* 壽(ひさし)に
- \* 林檎園の六月

## 「緑深い故郷の村で」 ■作詞／伊藤 整

### I 春 日

春の烟に老婆がひとり  
土は俄雨と太陽の熱とで気持よい暖かさを抱いてゐる。  
老婆は軟い烟に歎をつくり  
黒土の穴に  
真白い豆を一つ一つ並べてゐる。  
その豆の間違なく萌え出るのを知るものやうに  
ていねいに  
いつくしみつ、土をかける。  
この老いたる女と白き豆とに約束あり。

### II 風

風が激しく吹きつのる夕方は  
子供がむづかつて泣く。  
母は邪魔にそれを叱りとばす。  
裏の林を風が落ちつきなく吹きすぎ  
木や草はざわざわと葉をかへしてゆれる。  
こんな時には  
子供の心に  
頼りない涙が込み上げてくるのだ。  
子供はいつまでもす、り上げてゐる。  
母はそれを叱りつけて  
急がしく夕飯の仕度をする。

### III 雨

雨の降る日  
私の心は花壇の白い花のやうに  
雨にたたかれて亂れてしまふ。  
私は頼るものを知らず  
人の心を信じようとはしない。  
さびしく荒れた心に眺める  
暗い紫の地には 雨が降って降って  
いつまでも降り續いてみて  
そこに夕方の闇がくると  
泣いたあととのやうに悲しくつかれて  
私は眠るのだ。

### IV 比 號 に

焼場からの帰り路には  
雨降り花が數知れず咲いてゐる。  
雨降り花は どこか  
病んでゐた間のおまへの顔のやうだ。  
弟よ  
いまお前の骨を箱に拾って  
みんなは白い着物で  
五月の野道を並んで歸るのだ。

### 兄さんはもう二十二

博っちゃんだつてはたちになり。  
おまへと仲よかつた八重子は十六のおとな、  
それなのにお前だけが  
たつた十二で鐵板の上の白い骨になり  
箸をもつた私たちを焼場で泣かせた。  
この野道には  
死ぬ前のおまへの顔のやうな  
雨降り花がずっと咲き續いていて  
お前が十二年育った風景のなかを  
雲雀らが  
いくすぢもいくすぢもない空に昇る。

### V 林檎園の六月

林檎園は ほうと白く  
りんごの花ざかり。  
六月。  
人氣ない所に  
蜘蛛は暇な巣を張り  
蓬や虎杖は深く茂って膝を埋める。  
僕はすんなりと かうして伸び上り  
不思議な肉身と  
あつい思ひの若者となってから、  
この春といふもの なぜか  
あの頬のやうな花にまですぐ涙を誘はれるのだ。

あ、十四の少女は  
それを何ごともわきまへず、  
肌明るい十八の乙女は  
一夜の涙で脹れた目を 朝に冷たく見張って  
林檎園を棄てた。

あ、ひとりよ。  
ほのぼのと白く花が空を埋め  
霧も濃く六月の昼が深まれば、  
また私はこの橙色の身をもてあまして  
林檎園に来て 歓いて もだえるのだ。  
あ、捕へがたく逃れて行った。  
私の言葉をもう感じなくなった姿。  
冷たくて近寄れなかった目よ。

この花が散れば  
それで夢のように過した六月は経つてゆき、  
それから先の世界では  
たゞ狂ほしく私をめぐって  
縁へ縁へと季節が深まるばかり。

## 「莊嚴ミサ曲」

### ■作曲／アルベル・デュオバ

一八世紀イギリスで発展したグリー（無伴奏男声合唱）はドイツでリーダークランツの活動となり、フランスではオルフェオーンの合唱運動となつていった。ギリシャの伝説的人物オルフェウスの名に因んだこのオルフェオーン運動は、社会人によるアマチュア男声合唱運動で、ドイツと同じように合唱祭や合唱コンクールを開催し全フランスの合唱普及にはかりしれぬ影響を与えたのである。オルフェオーン運動に共感した作曲家も多く現れ、グノー、サン・サーンスなどは美しい作品をオルフェオーンのために書いたのだが、アルベル・デュオーバもそんな一人であった。今宵の第3ステージ、デュオーバ作曲男声合唱のための〈莊嚴ミサ曲〉もオルフェオーン大会のために書かれたものである。はからずも私達と立場を同じくする、社会人アマチュア男声合唱のために書かれた曲だけに感慨を深くするのだが、なんとも美しい曲である。



### 指揮／内海敬三

昭和31年 西南学院大学英文科卒業  
昭和27年 西南学院グリークラブ指導者となり翌28年と連続して西部合唱コンクールに優勝 全国合唱コンクール大学の部でも連続3位に入賞して戦後のグリークラブ第1期黄金時代を築いた  
昭和29年 西南シャントワール創設 初代指揮者として29年・30年連続して西部合唱コンクール優勝 うち29年は全国合唱コンクール一般の部3位に入賞 福岡合唱協会・RKB女声合唱団の指揮者を歴任 現在西南シャントワール 常任指揮者 西南学院高等学校教諭



### 指揮／宮崎 哲

幼少よりピアノを末永博子氏に師事 昭和44年 福岡教育大学音楽科卒業 作曲を森脇憲三・内山信氏に師事 教育大学卒業後上京 長谷川良夫・北村昭氏に作曲を師事 爆福後 新日鉄合唱団や福岡アカデミー少年少女合唱団において伴奏活動を行なう 昭和61年より女声合唱団「けやき」の常任指揮者 「福岡第九を歌う会」の合唱指揮を担当 指揮法を安永武一郎・田中信昭氏に師事 現在柏屋高校教諭



### ピアノ／三成寛子

福岡教育大学大学院終了 作曲・シンセサイザーを内山信氏に師事 1984年 シンセサイザーとマリンバによる自作コンサート 1988年 ジュネスオーケストラ 1989年 長崎大学管弦楽団とサンサンス作曲、「オルガン付」のオルガン奏者をつとめる 現在(財)ヤマハ音楽振興会指導スタッフ 西日本オペラ協会ピアニスト 福岡教育大学非常勤講師



### ピアノ／山田光子

福岡教育大学音楽科卒業 佐竹慈紀・森脇憲三・福田伸光の各氏に師事 オペラ・独唱・合唱などの伴奏活動を行う 女声合唱団「けやき」は発足当よりピアノ伴奏をつとめる

## ■西南シャントワール

### トップテナー

徳永	麟之助	幸一	一憲
内海	洋虎	幸一	進真聰也
平山	基成	口元	進
宮宮乙	成正	地司	眞也
高高	美志	口本	哲

出山	大山	枝子	波子
倉	杉	子	子

### セカンドテナー

的野	恭弘	藤橋	宗一
徳永	和豊史	佐石	武敏
福中	尾武	永間	田

河吉	彦博	藤垣	雄実
進玉	豊史	内	博
東		田	敏

### バリトン

林内	照敬	樹三俊	彦郎
下和矢	武正達	義彦	生純論
和矢			

森松	中首伊	尾嶋	博淳恒
中		藤德	
尾			

### ベース

山木	本道	松藤	康文
田横	中尾	毛三	正正
鶴		中	

## ■女声合唱団「けやき」

### ソプラノ

星松	竹野富岡	枝子	波子
川加	小宮	子	子
崎藤	山野嶋	敬裕	由紀子
加平		子	子
小宮		子	子

### メゾソプラノⅠ

河吉	進玉東	幸子	子子
吉	東	子	子
良	内	宏法敬節	あつ子
藤		眞宏	直子
垣		法	幸子
内		敬節	千佳

### メゾソプラノⅡ

岩松	大江甲	幸子	子子
松	江	子	子
大	甲	枝子	恵子
本		子	
島		江	
永		奈	
利		悦	
廣		子	
島		子	
永		江	

### アルト

山松	永田谷	ヤ子	代子
尾津	崎	子	子
尾	斐	枝	子
尾		子	
吉森	尾林古仲	美	子
野		千	富紗子
尾		富	節
林		和	康和
古		清	
仲		子	

## 感謝とお礼

西南シャントゥール 会長／徳永麟之助

ご多忙の中、私どもの'89年定期演奏会にお運びいただき心より感謝申し上げます。皆様のご支援をいただきつつ、どうにか私どもも35年という長い年月を歩いて参りました。途中何度も足踏みをして留まる事もございましたが、そのつど皆様の励ましとご叱責をいただき今日を迎える事ができました。

社会的に多忙な年齢の男性ばかりですので、「出張だ」「会議だ」と、週一回の練習でも、櫛の歯が抜けたような状態が続きます。全員が一堂に会するのは大袈裟のようですが年にほんの数回しかありません。どの団体でも男性の参加が少ないのは私どもと同じ理由からでしょう。

ともあれ、未熟ではございますが、全員精一杯歌います。男声合唱のハーモニーの美しさと力強さを少しでもお楽しみいただけたらこの上の喜びはございません。

また今回は男声合唱曲作曲者の第一人者、多田武彦先生から心暖まるメッセージを頂き、全員がどんなに励まされたか知れません。さらに、年々実力を付けられ、全国的にも評価の高い、女声合唱団「けやき」の皆様の賛助出演を頂き本当に感謝に耐えません。

ご来場の皆様、そしてご関係者の皆様本当に有難うございました。

またお目にかかる日を心からお待ちいたしております。

The advertisement features a Coca-Cola bottle and a glass filled with Coke on a dark surface. In the background, there's a book or menu with musical notation. The Coca-Cola logo is visible at the top left.

**I feel Coke.**  
さわやかティスティコカコーラ

ごあんない

■西南学院グリークラブ創立70周年記念演奏会

'89 12月23日(土)・福岡サンパレス

開場／17:30PM 開演／18:00PM ■入場券発売中／¥800 [賛助出演]西南シャントゥール

■第5回福岡男声合唱団・福岡コール・フェライン記念演奏会

'90 7月30日(月)・福岡サンパレス

「カルメン」小林一男・勝部太・西明美・大倉由紀枝 伴奏／九州交響楽団